



株主の皆様へ

CMP 通信

2010年3月期 中間報告書

2009年4月1日～2009年9月30日

中国塗料株式会社

証券コード：4617



代表取締役社長 山 庄 哲 夫

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当中間期(平成21年4月1日より平成21年9月30日まで)の当社グループの業績についてご報告申し上げます。

Contents	ごあいさつ	1
	当中間期の概況	2
	分野別概況	3
	連結決算ハイライト	5
	当中間期の当社の活動	7
	環境や社会への取り組み	8
	連結財務諸表	10
	中間連結貸借対照表	10
	中間連結損益計算書	11
	中間連結株主資本等変動計算書	11
	中間連結キャッシュ・フロー計算書	12
	会社概要	13
	株式の状況	14
	株主メモ	15

当中間期における世界経済は、中国をはじめとするアジアの緩やかな経済回復によって一部景気底入れの様相が見られたものの、雇用情勢に改善が見られないなど依然として厳しい基調で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境としましては、急減した荷動きの影響によって世界の海運業界では係船による需給調整や老朽船のスクラップ化も見られましたが、造船業界においては受注残の消化により船舶建造量は全般的に横ばいの水準を維持いたしました。一方、コンテナ業界は世界物流の本格的回復が見られないため、生産調整が長引いております。また、工業分野においてはインフラ整備に関連した新興国の産業界では堅調な動きも見られましたが、国内では公共事業の削減や住宅需要の低迷など厳しい状況となりました。

このような経営環境のもと、当中間期の当社グループの売上高は、顧客の信頼を高めた新造船用塗料や海外での修繕船用塗料のシェアアップなどもありましたが、コンテナ用塗料の激減や円高の影響によって431億3千1百万円(前年同期比19.4%減)となりました。

これに対しグループあげでの徹底した経費削減など総合的な経営効率化を進めた結果、営業利益は49億7千2百万円(同17.4%増)、経常利益は49億1千5百万円(同15.6%増)となり、中間純利益は税金費用が増加したことで26億5百万円(同9.2%減)となりました。

こうした業績を勘案し、また株主の皆様へ安定的な利益還元を行なうべく、当中間期におきましては所期の予定どおり1株につき6円の間配当を実施させていただくことといたしました。

今後の当社を取り巻く環境といたしましては、新造船において依然相当量を維持している受注残や、船腹の増加に伴う補修増により、船舶用塗料分野においては当面の間底堅い需要を維持できるものと思われまます。

しかしながら、コンテナ用塗料は物流の低迷が続く中、需要予測が極めて困難な状況であり、また工業用塗料についても、海外ではインフラ整備等により一定の需要が期待される一方、国内では低調な市場環境が続く見通しです。更には円高の長期化や、再び上昇傾向に転じた原油・非鉄金属等原材料価格の動向など、今後も厳しい環境が予想されます。

こうした中、当社グループといたしましては、今後も経営の合理化はもとより、市場ニーズを先取りした高機能製品の開発や適正販売価格の維持、そして世界的なネットワークを駆使した市場の開拓に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしく申し上げます。

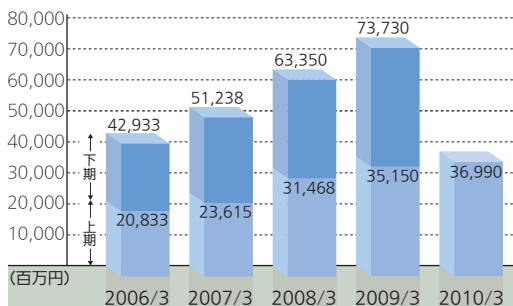
船舶用塗料



昨年の景気後退以降、世界的な海上輸送の停滞から新造船の新規契約件数は低迷し、また老朽船のスクラップや余剰船舶につき係船するなど船腹調整の動きが見られます。しかしながら、船舶建造量は景気回復とともに再び上向き、また世界経済の拡大による船舶の増加に伴う補修需要も見込まれることから、船舶用塗料は中長期的には底堅い需要が期待できるものと予測しています。

こうした中、現在受注を確保している契約船の建造に合わせ引き続き安定供給を図るとともに、世界的な動きである新塗装基準や低VOC化（揮発性有機化合物の低減化）に対応した製品を展開する等、新造船向け塗料の拡販やグローバルな修繕市場でのシェア確保に向けた取り組みを進めてまいります。

船舶用塗料の売上高



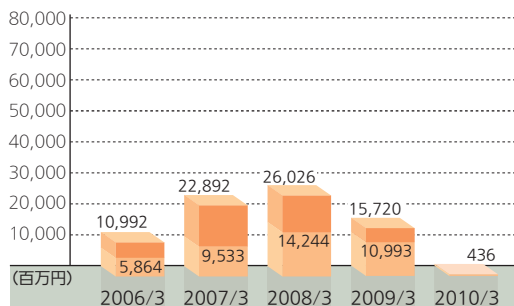
コンテナ用塗料



海上輸送の中でも景気後退の影響が最も顕著であったコンテナ輸送の低迷が続いていることから、コンテナボックス生産も依然回復の兆しが見えず、コンテナ用塗料の出荷は当面低調な状況が続くものと思われまます。

こうした中、当社といたしましては、営業から製品開発に至る関係を強化し、市場情報の一層の収集に努めるとともに、コンテナ製造・輸送においても着実に高まっている環境負荷低減や低VOC化の要求に応える新製品の開発に尽力し、需要回復と顧客ニーズの変化に即応できる体制整備を進めてまいります。

コンテナ用塗料の売上高



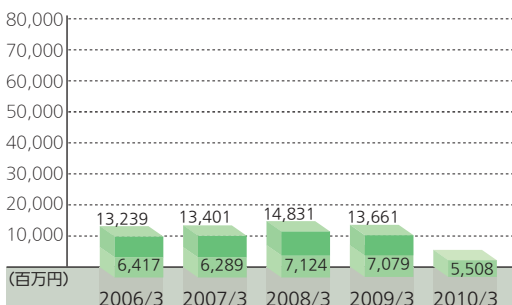
工業用塗料



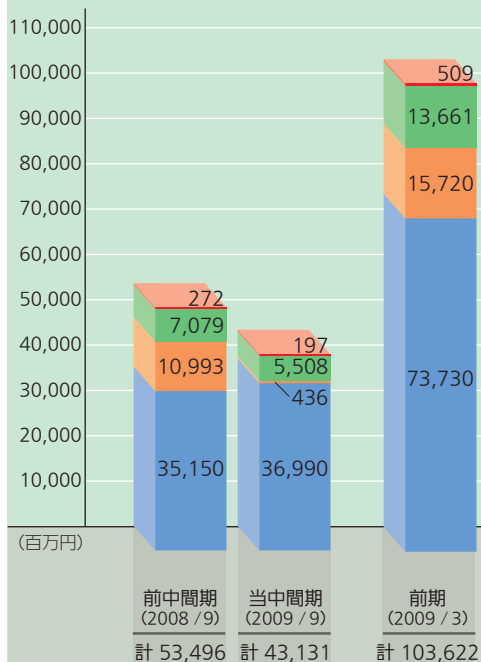
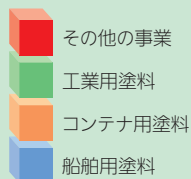
国内においては公共事業の削減や新築住宅着工件数の低迷など厳しい事業環境が続いておりますが、市場の成熟とともに性能や品質への要求レベルが高まっており、これに伴う新たな事業創出の機会も少なくありません。

このため、堅調な建築需要が続く海外市場での拡販はもとより、国内において、当社が重防食用塗料や建築用塗料で長年培ってきた技術を応用展開し、客先にニーズを先取りした高機能製品を提案することにより、新たな市場の開拓を進めてまいります。

工業用塗料の売上高



分野別売上高(連結)

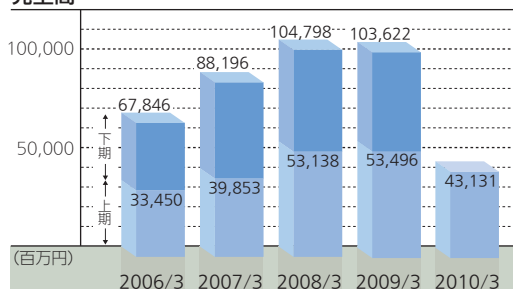


連結決算ハイライト

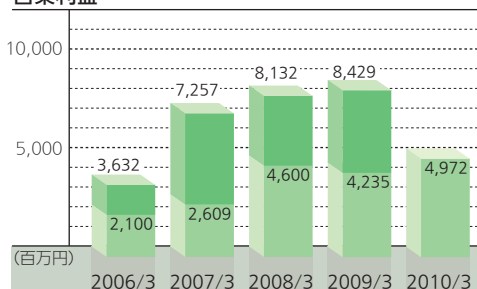
(単位：百万円)

科目	2008年9月中間期	2009年9月中間期	2009年3月期
売上高	53,496	43,131	103,622
営業利益	4,235	4,972	8,429
経常利益	4,251	4,915	7,899
中間(当期)純利益	2,870	2,605	5,031
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,102	6,169	4,074
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,582	△ 1,135	△ 1,634
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 920	△ 2,665	△ 711
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	6,510	11,330	8,591
純資産	43,490	44,014	40,013
総資産	103,848	94,472	91,776
1株当たり純資産(円)	597.61	600.88	550.49
1株当たり中間(当期)純利益(円)	41.72	37.90	73.14
自己資本比率(%)	39.6	43.7	41.2

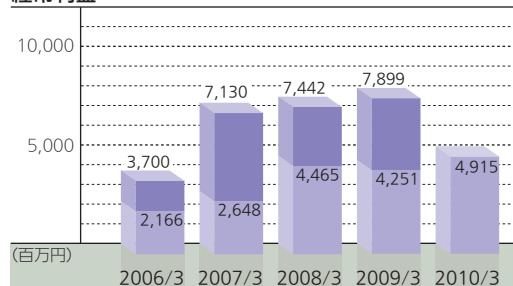
売上高



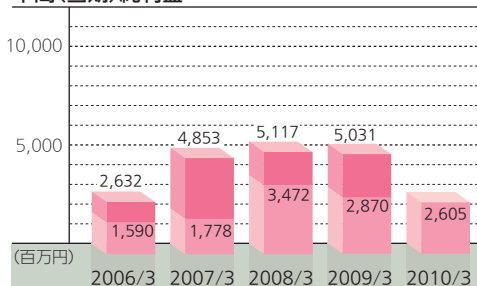
営業利益



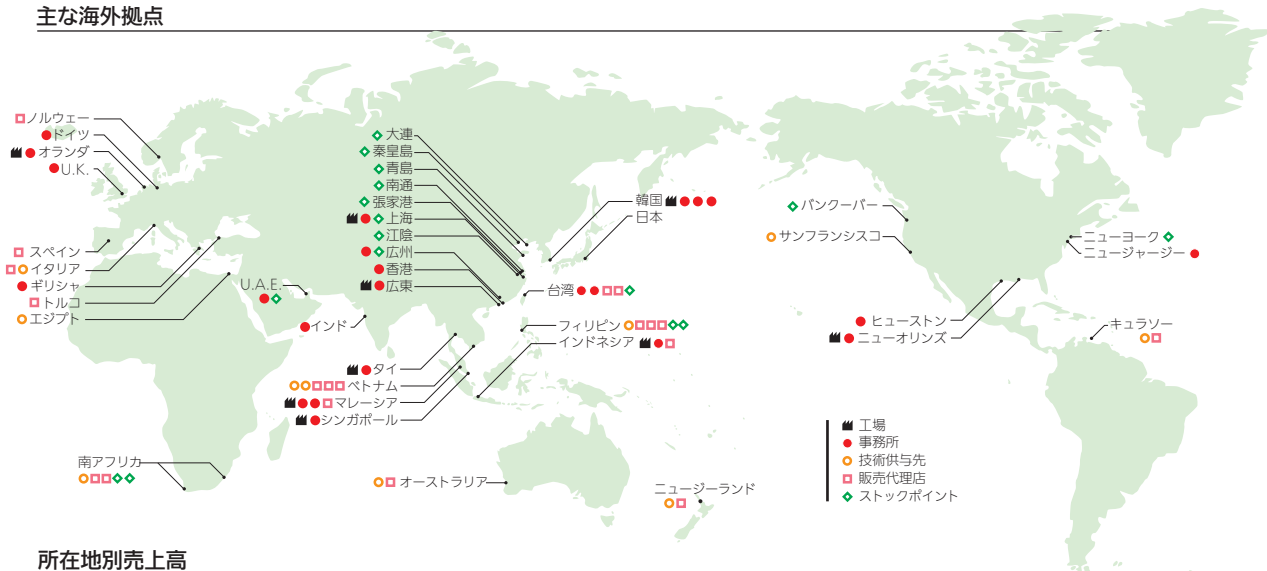
経常利益



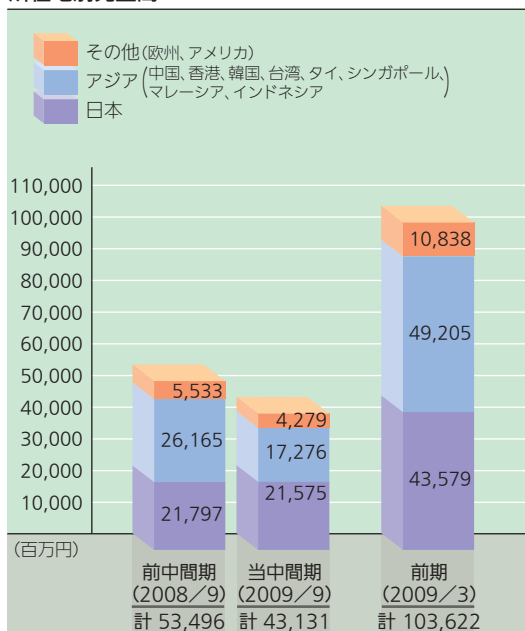
中間(当期)純利益



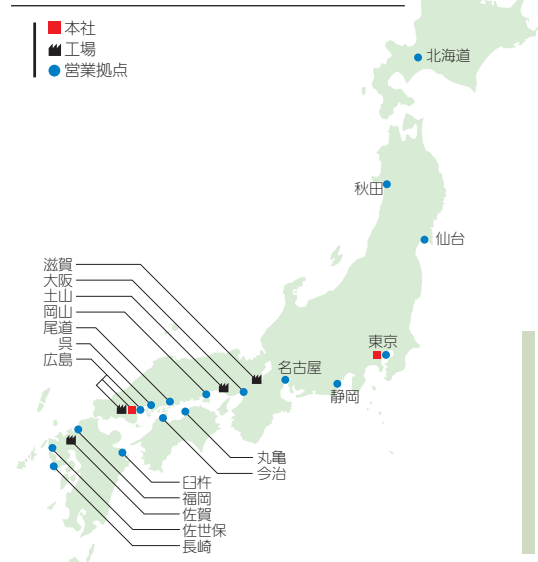
主な海外拠点



所在地別売上高



主な国内拠点



New Product

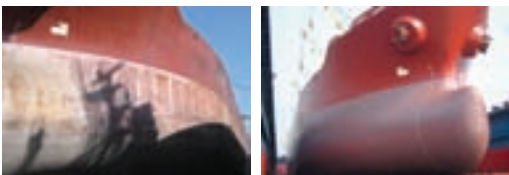
新製品情報

加水分解型船底防汚塗料

シーグランプリ660HS

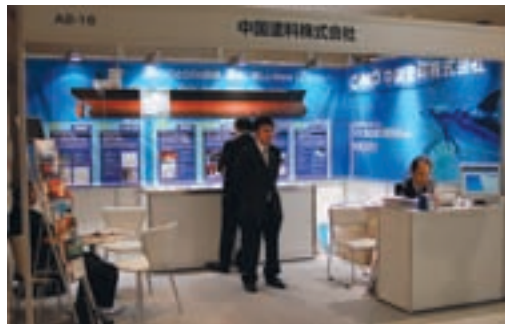
VOCを低減した高性能船底防汚塗料

当社が誇る船底防汚塗料「シーグランプリ」シリーズに、新たにVOC(Volatile Organic Compounds / 揮発性有機化合物)が少なく環境に優しいハイソリッドタイプのシーグランプリ660HSが加わりました。これまでユーザーから高い評価を得ていた加水分解性能をさらに向上させ、長期防汚性を実現しています。



展示会への出展

海事産業の盛んな愛媛県今治市において開催された今治海事展に出展し、船舶用塗料のアピールを行いました。今後もさらなる営業展開を図るべく、積極的に営業・広報活動を行なってまいります。



今治海事展(BARI SHIP) 5月21~23日(愛媛県今治市)

羽田拡張工事に当社製品採用

東京国際空港(羽田空港)拡張工事では、多摩川河口部分に環境への配慮から鋼鉄製ジャケットを組み合わせた栈橋構造がとられています。このジャケット部に当社製品(ユニバン NT-100)が採用されました。



環境への取り組み

地球環境の保全是私たちが生存していく上で、たいへん重要なことであるという認識の上にたち、当社は環境への負荷の低減および環境との調和に努めるとともに、安全・健康にも配慮した企業活動をコーティング・ケアの原則に従い、全社一丸となり展開していきます。



当社は(社)日本塗料工業界が推進する「コーティング・ケア」に則り、環境・安全・健康の保全を目的とした自主管理活動を行なっています。

市場環境安全

環境対応製品への切り替え推進や、MSDSへの対応、PRTRへの対応などを行なっています。

MSDSとは?

MSDS(Material Safety Data Sheet/製品安全データシート)とは化学物質の性状や取り扱いに関する情報を記載したもので、化学品の譲渡にあたり、相手に提示することが義務付けられているものです。

PRTRとは?

PRTR(Pollutant Release and Transfer Register/環境汚染物質排出移動登録)とは、対象となる化学物質の環境への排出量や廃棄量を把握し、これを行政機関に届け出る制度のことです。

環境安全衛生

環境への負荷低減や安全・衛生の確保などを推進しています。



リサイクル型タンクコンテナ(IBC/Intermediate Bulk Container)による塗料容器の循環利用。



出力10kWの太陽光発電システムの長期実証運転(4年間)を行なっています。

製品環境安全

有害原材料の使用量削減を目指した製品開発を進めています。

ISO14001 環境マネジメントシステム

環境保全という重要な社会的責務を確実に果たすべく、当社は環境マネジメントシステムの構築を進めています。当中間期末現在、以下の事業所に認証を取得しています。

中国塗料株式会社 工業塗料事業本部 滋賀事業所
中国塗料株式会社 九州工場
Chugoku Samhwa Paints, Ltd.(韓国)

※登録者名「中国塗料株式会社 工業塗料事業本部 滋賀事業所」は2009年3月31日現在の名称であり、現在の滋賀工場および技術本部(滋賀)に相当します。

社会への取り組み

当社グループは、地域社会の持続的発展のため14カ国・地域、26社の拠点を通じて地域の皆様との良好な関係の構築に努めています。

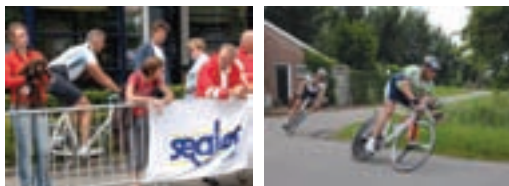
校舎の塗り替えに協力(タイ)

Toa-Chugoku Paints Co.,Ltd. は、Ban-khunsamut schoolのリフォームのために塗料を提供し、塗装ボランティアを行ないました。



トライアスロン大会への協力(オランダ)

Chugoku Paints B.V.はOud Gastelで行なわれたトライアスロン大会をサポートしました。



職場体験学習

広島県大竹市教育委員会の要請を受け、「中学生の職場体験学習」を積極的に受け入れています。



地域清掃活動の実施

当社グループの主要生産地区では、工場周辺の清掃、美化活動を定期的に行なっています。



九州工場周辺の清掃活動

韓国工場周辺の清掃活動

社会・環境報告書

当社の各年における社会・環境への取り組みを「社会・環境報告書」にとりまとめ、公開しています。



「社会・環境報告書」はホームページよりダウンロードしていただけます。

<http://www.cmp.co.jp/eco/>

また、冊子をご希望の方は当報告書裏表紙に記載の弊社東京本社までご請求ください。

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目		当中間期 (2009年9月30日現在)	前期 (2009年3月31日現在)	
資産の部	流動資産	現金及び預金	11,267	8,625
		受取手形及び売掛金	36,410	34,891
		有価証券	135	—
		商品及び製品	8,130	9,525
		仕掛品	442	505
		原材料及び貯蔵品	5,284	5,972
		繰延税金資産	899	841
		その他	700	912
		貸倒引当金	△ 641	△ 645
		流動資産合計	62,629	60,629
		固定資産	有形固定資産	
	建物及び構築物(純額)		6,336	6,280
	機械装置及び運搬具(純額)		2,607	2,589
	土地		13,158	13,124
	その他(純額)		2,288	1,843
	有形固定資産合計		24,390	23,837
	無形固定資産		818	843
	投資その他の資産			
	投資有価証券		5,275	4,958
	繰延税金資産		307	380
	その他	1,058	1,132	
貸倒引当金	△ 7	△ 5		
投資その他の資産合計	6,634	6,465		
固定資産合計	31,843	31,146		
資産合計		94,472	91,776	
負債の部	流動負債	支払手形及び買掛金	11,348	13,193
		短期借入金	23,548	24,939
		1年内返済予定の長期借入金	834	149
		未払金	3,319	2,748
		未払法人税等	1,873	785
		賞与引当金	87	83
		役員賞与引当金	36	—
		製品保証引当金	108	127
		その他	2,636	2,322
		流動負債合計	43,793	44,351
		固定負債	長期借入金	2,242
	長期未払金		295	295
	繰延税金負債		34	33
	再評価に係る繰延税金負債		3,026	3,026
	退職給付引当金	664	659	
その他	400	393		
固定負債合計	6,664	7,410		
負債合計		50,458	51,762	
純資産の部	株主資本	資本金	11,626	11,626
		資本剰余金	7,783	7,783
		利益剰余金	23,335	21,210
		自己株式	△ 192	△ 187
		株主資本合計	42,553	40,433
	評価・換算差額等	その他の有価証券評価差額金	204	△ 15
		土地再評価差額金	3,168	3,168
		為替換算調整勘定	△ 4,614	△ 5,735
	評価・換算差額等合計	△ 1,241	△ 2,581	
	少数株主持分	2,702	2,161	
純資産合計		44,014	40,013	
負債及び純資産合計		94,472	91,776	

現金及び預金

営業活動によるキャッシュ・フローの改善により、前期末に比べ26億4千2百万円の増加となりました。

たな卸資産

たな卸資産は前期末に比べ21億4千6百万円減少しました。

固定資産合計

有形固定資産の取得等により、前期末に比べ6億9千6百万円増加しました。

支払手形及び買掛金

たな卸資産縮小に伴い、前期末に比べ18億4千5百万円の減少となりました。

短期借入金

借入金の返済により、前期末に比べ13億9千1百万円の減少となりました。

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前中間期 (自 2008年4月1日 至 2008年9月30日)	当中間期 (自 2009年4月1日 至 2009年9月30日)	前期 (自 2008年4月1日 至 2009年3月31日)
売上高	53,496	43,131	103,622
売上原価	38,849	28,074	74,550
売上総利益	14,647	15,057	29,072
販売費及び一般管理費	10,411	10,085	20,642
営業利益	4,235	4,972	8,429
営業外収益	709	365	1,136
受取利息	44	18	78
受取配当金	123	97	175
受取ロイヤリティ	78	36	116
技術指導料	69	62	124
その他	393	150	642
営業外費用	693	421	1,666
支払利息	416	198	774
為替差損	145	36	431
その他	130	187	460
経常利益	4,251	4,915	7,899
特別利益	4	6	23
固定資産売却益	—	3	15
投資有価証券売却益	—	—	0
製品保証引当金戻入額	3	2	8
その他	1	0	0
特別損失	170	114	176
固定資産売却損	3	0	3
過年度増値税等	154	—	152
投資有価証券評価損	—	112	7
その他	13	0	14
税金等調整前中間(当期)純利益	4,085	4,807	7,746
法人税、住民税及び事業税	1,002	1,831	2,116
法人税等調整額	△ 119	△ 87	△ 118
少数株主利益	331	456	717
中間(当期)純利益	2,870	2,605	5,031

売上高

コンテナ用塗料の売上減少や為替の影響により前年同期に比べ103億6千4百万円減少しました。

営業利益

全社コスト削減等経営の合理化により前年同期に比べ7億3千6百万円増加しました。

経常利益

営業利益の増加を受け、前年同期に比べ6億6千4百万円増加しました。

中間(当期)純利益

税金費用の増加により、前年同期に比べ2億6千5百万円減少しました。

中間連結株主資本等変動計算書

当中間期(自 2009年4月1日 至 2009年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
前期末残高	11,626	7,783	21,210	△ 187	40,433	△ 15	3,168	△ 5,735	△ 2,581	2,161	40,013
当中間期中の変動額											
剰余金の配当			△ 481		△ 481						△ 481
中間純利益			2,605		2,605						2,605
自己株式の取得				△ 4	△ 4						△ 4
株主資本以外の項目 の当中間期中の 変動額(純額)						220		1,120	1,340	540	1,880
当中間期中の変動額合計	—	—	2,124	△ 4	2,120	220	—	1,120	1,340	540	4,000
当中間期末残高	11,626	7,783	23,335	△ 192	42,553	204	3,168	△ 4,614	△ 1,241	2,702	44,014

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前中間期	当中間期	前期
	(自 2008年4月 1 日 至 2008年9月30日)	(自 2009年4月 1 日 至 2009年9月30日)	(自 2008年4月 1 日 至 2009年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前中間(当期)純利益	4,085	4,807	7,746
減価償却費	734	776	1,555
のれん償却額	11	10	22
貸倒引当金の増減額(減少:△)	44	△ 38	48
退職給付引当金の増減額(減少:△)	66	△ 5	12
その他引当金の増減額(減少:△)	18	17	△ 62
受取利息及び受取配当金	△ 167	△ 116	△ 254
支払利息	416	198	774
為替差損益(益:△)	34	8	△ 9
投資有価証券売却損益(益:△)	△ 0	△ 0	△ 0
投資有価証券評価損益(益:△)	0	112	7
会員権評価損	12	0	14
固定資産売却損益(益:△)	20	5	22
売上債権の増減額(増加:△)	△ 4,366	1,563	△ 3,082
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 900	2,681	△ 310
未取消費税等の増減額(増加:△)	333	△ 89	501
仕入債務の増減額(減少:△)	2,949	△ 2,441	111
割引手形の増減額(減少:△)	△ 95	△ 1,697	192
長期未払金の増減額(減少:△)	△ 21	—	△ 53
その他	△ 104	1,205	17
小計	3,072	6,999	7,255
利息及び配当金の受取額	166	115	254
利息の支払額	△ 427	△ 202	△ 783
法人税等の支払額	△ 1,708	△ 743	△ 2,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,102	6,169	4,074
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△ 174	△ 35	△ 31
定期預金の払戻による収入	—	—	102
固定資産の取得による支出	△ 1,102	△ 1,014	△ 3,009
固定資産の売却による収入	16	13	1,647
投資有価証券の取得による支出	△ 9	△ 101	△ 19
投資有価証券の売却による収入	0	1	3
子会社株式の取得による支出	△ 286	—	△ 293
その他	△ 25	0	△ 34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,582	△ 1,135	△ 1,634
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 232	△ 2,005	423
長期借入による収入	—	—	100
長期借入金の返済による支出	△ 65	△ 74	△ 133
自己株式の売却による収入	2	—	8
自己株式の取得による支出	△ 11	△ 4	△ 41
配当金の支払額	△ 481	△ 480	△ 893
少数株主への配当金の支払額	△ 113	△ 149	△ 213
少数株主からの払い込みによる収入	—	76	77
その他	△ 19	△ 26	△ 38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 920	△ 2,665	△ 711
現金及び現金同等物に係る換算差額	51	369	△ 994
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 1,348	2,738	733
現金及び現金同等物の期首残高	7,858	8,591	7,858
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	6,510	11,330	8,591

営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の回収やたな卸資産の減少により前年同期に比べ50億6千7百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

子会社株式の取得がなかったこと等により、前年同期に比べ4億4千6百万円増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の減少等により、前年同期に比べ17億4千4百万円減少しました。

現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高

前期末に比べ27億3千8百万円増加しました。

設立	1917年(大正6年)5月
資本金	11,626,085,606円
本社	東京本社 東京都千代田区霞が関三丁目2番6号 広島本社 広島県大竹市明治新開1番7 (本店登記地)

CMPグループの概況

CMPグループは中国塗料株式会社(当社)およびその子会社25社により構成されており、塗料製品の製造、販売を主な事業としているほか、これらに付随するサービス業務等を営んでおります。

塗料関連事業(国内)	(計8社)
当社、大竹明新化学(株)、神戸ペイント(株)、文正商事(株)、 グローバル・エンジニアリング・サービス(株)、 中国塗料長崎販売(株)、中国塗料技研(株)、三陽興産(株)	

塗料関連事業(海外)	(計15社)
Chugoku Marine Paints (Hong Kong), Ltd. Chugoku Marine Paints (Shanghai), Ltd. Chugoku Marine Paints (Guang Dong), Ltd. Chugoku Marine Paints (Singapore)Pte., Ltd. Chugoku Paints (Malaysia) Sdn.Bhd. Chugoku Paints B.V.	
	その他9社

その他の事業	国内(計4社)
当社、(株)シーエムピー企画、中国ソフト開発(株)、 ヤス運送(株)	

役員

取締役および監査役

代表取締役社長	山住 哲夫
専務取締役	植竹 正隆
常務取締役	木戸 久雄
常務取締役	船田 昌平
取締役	原田 伸
取締役	熊井 一也
取締役	廣中 茂美
取締役	宮内 光明
取締役	長谷川 博
取締役	尾野 眞史
取締役	河添 正雄
取締役	土井 常雄
取締役	三好 秀則
常勤監査役	田尾 正司
常勤監査役	宮原 忠之
監査役	中野 紀従
監査役	浦部 善教

(注)監査役 中野紀従、浦部善教の両氏は社外監査役であります。

執行役員

執行役員	大上 幸二
執行役員	吉川 榮一
執行役員	大浦 隆志
執行役員	亀田 俊
執行役員	羽野 清孝
執行役員	近藤 俊昭
執行役員	吉野 實

CMPグループ従業員の状況

事業区分		従業員数(名)
塗料関連事業	国内	641 (122)
	海外	1,651 (62)
小計		2,292 (184)
その他の事業	国内	32 (14)
全社(共通)	国内	36 (8)
総計		2,360 (206)

※カッコ内は派遣社員および臨時社員の当中間期平均人数(外数)

株式の総数および株主数

発行可能株式総数 277,630,000 株

発行済株式総数
(自己株式を含む) 69,068,822 株

自己株式 316,904 株

株主数 6,333 名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	構成比(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,420	7.84
三菱商事株式会社	3,901	5.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,699	5.35
株式会社広島銀行	3,417	4.94
明治安田生命保険相互会社	2,000	2.89
ザチースマンハッタンバンク エヌエイロンドンエスエルコムバスアカウント	1,974	2.85
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,553	2.24
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,280	1.85
東京海上日動火災保険株式会社	1,231	1.78
日新火災海上保険株式会社	1,121	1.62

■ 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容		お問合せ先
特別口座に記録された株式	<ul style="list-style-type: none"> ○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法のご指定(※) 	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 【手続き書類のご請求方法】 <ul style="list-style-type: none"> ○音声自動応答電話によるご請求 ☎0120-244-479 ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
	<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ 	

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びできません。

証券会社等の 口座に記録 された株式	<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ 	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711
	○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

株主メモ

■ 事業年度	4月1日～翌年3月31日
■ 定時株主総会開催時期	毎年6月
■ 同総会議決権行使基準日	毎年3月31日（その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。）
■ 配 当	期末配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日
■ 公告掲載	日本経済新聞 貸借対照表および損益計算書を当社ホームページに掲載しております。(http://www.cmp.co.jp/)
■ 株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 特別口座の口座管理機関	
■ 同連絡先	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
■ 郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711

- 【ご注意】 1、株券電子化にともない、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3、未受領の配当金につきましては三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

CMP 通信

2010年3月期 中間報告書
2009年4月1日～2009年9月30日

社 名 中国塗料株式会社
英文社名 CHUGOKU MARINE PAINTS, LTD.
東京本社 〒100-0013 東京都千代田区霞が関三丁目2番6号
☎ 0120-70-4931 (しきさい/色彩)

広島本社 〒739-0652 広島県大竹市明治新開1番7
☎ 0120-75-4931 (しきさい/色彩)

ホームページ <http://www.cmp.co.jp/>

